

三郷学講座アンケート集計結果

当日は、三郷学講座の24名(市民等・職員含む)の参加があり、そのうち17名の方からアンケートのご記入をいただきました。部分的に回答していただいた方もいるため、各設問に対する回答数にはバラツキがあります。

1 (講座内容について)

講座の内容は理解できましたか。

大変よく理解できた(75～100%)	理解できた(50～74%)	あまりよく理解できなかった(25～49%)	理解できなかった(0～24%)
12	5	0	0

無回答 7

2 1で または を選択された方をお願いします。理解できた点を、ご記入ください。

<ul style="list-style-type: none">・地方分権化が進み、国と地方自治体の関係が対等になりえているということについて・広報は、市側から一方的に伝えるだけでなく、見る側の視点が大切ということについて・同時に伝えたい情報を簡潔かつ、明確にいかに見る人の心に響く引き込みをするかについて・マスコミをうまく活用し、情報の利用を考えることについて・総合計画策定にあたっての着眼点について・広報の重要性及び信頼関係について・広報については時代とともに変化し、画一化されたお知らせ型から協働型へ変化していること・総合計画については、まちづくりの最重要指針である。地方分権改革による裁量権の拡大をいかすため、職員の政策法務能力が必要となることについて・財政評価よりも行政評価に重きをおくことについて・業務をこなす職務員ではなく、市のために動く『公務員』である意識を全職員が持つ必要性について・地方分権時代に私たちが総合計画を抛り所にどの様に業務を遂行していくかについて・分権改革の流れについて(地方自治体が国のルールを変えることについて)・自治体の過去、現在、未来を細かく分析し、適切な政策を行っていくことについて・広報においては『募集』が一番市民からの反響が多いということについて

3 1で または を選択された方をお願いします。理解できなかった点を、ご記入ください。

<ul style="list-style-type: none">・理論的な話しが長く、具体的な話しが少なかったため・言葉のみの説明であり、具体的事例に乏しかったため

4 (講座の時間について)

講座時間はいかがでしたか。

ちょうどよい	長い	短い
16		

未回答 8

【裏面に続きます。】

5 (実務への活用について)

講座の内容について、実務に活用することができそうですか。(対職員向け)

(該当する全てに をつけてください。)

すぐにできる	工夫すればできる	今は難しいが できる可能性 がある	活用は困難
1	4	4	0

無回答 3

6 5で に つけた理由(内容)を具体的に記入して下さい。

- ・各課からお知らせ型の記事が多いので、協働型にシフトしていくことについて
- ・クイズ等の市民応募型の記事についての企画立案について
- ・広報は一人の力ではできないので、周囲の理解も必要であることについて
- ・前に押し出す強い気持ちも養わなければならないことについて
- ・予算的や人員面で実現不可能な施策でも目標として掲げておくことが大切だということについて

7 (テーマについて)

興味のあるテーマ、今後、理解を深めたいと考えているテーマがございましたらご記入ください。

- ・自治基本条例を活用することについて
- ・社会の役に立ちたい人が多くいること、この人達を発掘して市民参加に結びつけることについて
- ・団体等への補助金・支出の費用対効果について
- ・三郷市の地域資源の掘り下げについて
- ・広報広聴に関する内容について
- ・人口推計等のデータを分析して、その自治体に合った政策を考える様なテーマについて
- ・モチベーションアップについて
- ・観光やイベントの開催方法について

8 (意見・感想・要望)

今回の講座を受けた感想等についてご自由にご記入ください。

- ・市民サービスを提供する側として、利用者の率直な意見や本音を聞き、迅速に対応していくために、何をすべきかについて。個人としては、まだまだ勉強不足ばかりが目立つが、力を付けていきたい。
- ・利用者を募る、集客する立場として、広報の重要性さについて改めて考えさせられた。
- ・日頃から現状について課題認識を持っていきたい。
- ・市民の方々と業務時間内に一緒に研修を受ける機会は初めてだったが、大変有意義な時間であった。
- ・公務員として、自治体を良くするにはどうしたら良いのか、日々の業務を遂行したい。
- ・問題認識を持ち、現状を変えるトライする大切さを学んだ。
- ・行政に市民が参加・参画しているのではなく、行政と市民が協働して政策を行っていくという意

識が大事だと思う。

- ・様々な施策を展開しながら、それを情報として発信しきれずにいることに、苛立ちを感じていた
が、解決の糸口を教えていただいた。講師の説明がとても分かり易く内容も市民にも職員にも良
いものであった。
- ・主任研修や係長研修で取り上げてもよいと思った。
- ・人を動かす広報について、その手法が大変興味深かった。